

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

- ★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。
- ★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。
- ★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 人工知能(AI)を用いた非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の超音波診断支援システムの開発
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 消化器肝臓内科 (研究責任者)松本 直樹
<研究期間> 承認日 ~ 西暦 2028 年 12 月 31 日
<研究の目的と意義> 最近、脂肪肝の患者さんは肝臓に線維化があることで予後が悪くなるということがわかりました。線維化の有無はエラストグラフィという、肝臓の硬さを測定する装置（超音波、MR I）によりある程度わかりますが、いずれも高価な装置で、どの医療機関でも受けられるものではありません。そこで超音波画像を病理組織像の線維化の程度と対比し、人工知能によって学習させ、線維化の診断を自動で行えるシステムの開発を目的に研究を行います。
<利用する試料・情報の項目> 検査データ, 診療記録, 画像情報, 病理組織画像等
<対象となる患者さん> 西暦 2015 年 1 月 1 日～西暦 2018 年 12 月 31 日の期間に当院消化器肝臓内科で肝生検の検査が行われ、脂肪肝と診断された方
<研究の方法> 日本大学医学部附属板橋病院、日本大学病院、虎の門病院、岩手医科大学附属病院で超音波検査を行った脂肪肝の患者さんの超音波画像を日本大学医学部附属板橋病院に設置するサーバに蓄積します。蓄積された超音波画像を匿名化して電気通信大学の画像解析サーバへ送信、人工知能技術を用いて超音波画像を解析します。病理画像も同様に電気通信大学で解析します。

<外部への試料・情報の提供等>

共同研究機関への画像情報の提供は、記録媒体の郵送または、電子的配信により行います。電子的配信は特定の関係者以外はアクセスできない状態で行います。その際、氏名や患者番号は削除され、対応表が無ければどの患者さんのものかわからないようにします。

対応表は、日本大学医学部消化器肝臓内科医局で保管・管理します。

<研究組織>

日本大学医学部附属板橋病院 病理 杉谷雅彦、辻村隆介、伊豆麻未

日本大学病院 消化器肝臓内科 金子真大、渡邊幸信、平山みどり、三浦隆生、中河原浩史、小川眞広

岩手医科大学病院 消化器科 黒田英克

虎の門病院 肝臓科、臨床検査部 齋藤聡、伝法秀幸

電気通信大学 大学院情報理工学研究科 小泉憲裕、西山悠

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

消化器肝臓内科 氏名:松本 直樹

電話:03-3972-8111 内線:(PHS)8095

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)